



立命館大学図書館における障害者への対応 (視覚障害者等へのデータ提供サービスについて)

2016年2月19日

立命館大学 図書館サービス課

三谷恭弘

<http://www.ritsumei.ac.jp/library/>

1.背景

■ 障害学生の増加

2006年度 学生スタッフとのピアサポートによるピアエデュケーションを教学的目標とした障害学生支援室を設置

- 1) 障害学生の教育を受ける機会の平等を実現すべく支援を行う
- 2) 障害学生支援を通してすべての学生の学びと成長に寄与する取り組みを行う
- 3) 障害学生支援に関わるFD・SDを通して大学全体の教育力の向上を目指す

2007年度 グローバルCOEに「『生存学』創成拠点」が採択され、これに伴い先端総合学術研究科（大学院）への障害学生の入学が増加

■ 著作権法改正に伴う図書館サービスの拡大

2010年1月1日、改正著作権法の施行により大学図書館は「当該視覚著作物に係る文字を声にすることその他該当視覚障害者等が利用するために必要な方式により、複製し、又は自公衆送信（送信可能化を含む。）を行うことができる」こととなった。

【著作権法第37条3項】

2.経緯

- 2010年7月： 図書館と障害学生支援室の連携による、
図書館資料のテキストデータ提供開始
- 2011年1月： 図書館による図書館資料のテキスト
データ提供サービス開始（当初は作業担当1名体制）
- 2015年5月： データ提供をCD-ROM貸出からWeb
（授業支援システム manaba+R）からのダウンロード
に変更

3.対象者

本学での実績では

視覚障害者の方、肢体障害者の方

図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン

(資料を利用できる者)

4 著作権法第37条第3項により複製された資料（以下「視覚障害者等用資料」という。）を利用できる「視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者」とは、別表1に例示する状態にあつて、視覚著作物をそのままの方式では利用することが困難な者をいう。

4.利用条件

- 利用者：本学正規課程在籍中の学部生および院生
- 対象資料：貸出可能な図書館資料および雑誌論文
(ただし、日本語、英語の資料のみ)
- 申請可能件数：一度に3件まで（累計10件）
- リテラシー研修を受講し利用者登録が必須
- 他条件（ILLの利用等）は健常者と同じ
- 受付、提供準備完了等、図書館からの連絡は全てメールで行う

5.リテラシー研修

- 視覚障害学生向けの主な内容
 - ①図書館利用ルール説明
 - ②UAR（図書館内の視覚障害者向け設備）の利用方法説明
 - ③データベース紹介
 - ④テキストデータ化サービスの利用ルール説明
 - ⑤サピエや点字図書館の利用案内
- 事前にメール添付で資料を送付し、熟読を促す
- 来館いただき1時間程度で実施
- その他、障害の種類に応じた研修内容

6.提供データ

■ 提供テキストデータの種類

OCRのみの「校正無」データ（ページ番号は付ける）

人手による「校正済」のデータ

■ 校正済データは、全章一括と目次・章毎に分割したデータの2種類を作成

■ テキストデータ化した資料の書誌情報を、毎月、利用登録した学生にメールで配信し、図書館Webページにも掲載。

7. データ提供までの流れ

- ① 利用相談受付（一次窓口）
- ② 利用相談（利用者情報・ニーズを把握し、研修実施）
- ③ データ化依頼受付（メール or 図書館カウンター）
- ④ 既存資源有無確認（サピエ、学内、出版社など）
- ⑤ 当該図書資料準備（他機関所蔵の場合はILL許諾）
- ⑥ 申込学生への受付完了メール送信
- ⑦ データ化作業実施
- ⑧ 作業完了後、申込学生にメール送信で通知
- ⑨ 申込学生はWeb（授業支援システム manaba+R）からデータをダウンロードして使用

8. データ化実施作業

- ① 利用学生名で当該図書を借りる
- ② 見開き毎にコピー
- ③ OCRでテキストデータに変換
- ④ 校正（1回目）
- ⑤ 校正（2回目）
- ⑥ 全頁および章毎にデータを分割して保存
- ⑦ Web（授業支援システム manaba+R）にデータをアップロード

* 提供にかかる期間（目安）：

校正有 1件1ヶ月、校正無OCRのみ 1週間



manaba+Rとは、予習・復習や講義の補足など、授業を支援するe-learningツールのことです。

manaba+R

manaba+R →

manaba+R利用マニュアル
manaba+R User Manual →

教職課程 manaba folio →

スマートフォンからの利用はこちら



manaba+R 利用情報 manaba+R Maintenance Schedule

2015.08.19更新

- ・1回でアップロードできる容量の上限値は50MBです。
- ・90分間更新されない場合、自動的にログアウトします。
- ・携帯電話による出席・クリッカー機能が提供されています。

利用方法については下記URLをご確認ください。

http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/rio/ct_koukai/attendancesmall.pdf

- システムメンテナンスため、必要に応じ、一時的に当システムの利用を休止とさせていただきます。
- やむを得ず緊急的に休止する場合もありますが、当画面を通じて事前に利用休止のお知らせをいたします。



マイページ

コース

メモ一覧

出席カード

English

メモ

コース一覧

サムネイル形式

現在のコース

図書資料データの提供
2015

コース管理

◆ コースの内容をコピー

コースの課題やコンテンツをコース間でコピーすることができます。

◆ スマートフォンから課題提出

スマートフォンから課題を提出する事もできます。
※従来型の携帯電話からは、提出できません。[> スマートフォン版へ](#)

◆ 出席カード提出

出席カードの提出はこちらのURLです。

<https://ctat.ritsumei.ac.jp>



マイページ

コース

メモ一覧

出席カード

English



図書資料データの提供

コース設定

担当教員:

2015

小テスト

アンケート

レポート

プロジェクト

成績 (採点結果)

掲示板

コンテンツ (教材)

出席カード一覧 | 発行 | 授業計画表 | コースメンバーリスト

コースニュース

コースニュース追加

manaba+R 利用の手順 2015-05-20

コースニュース一覧

スレッド (更新順)

スレッド作成

スレッドはありません。

スレッド一覧

コンテンツ (更新順)

コンテンツ作成

データ番号286 福...
2015-08-31 13:30

データ番号285 社...
2015-08-31 13:28

データ番号284 社...
2015-08-31 13:26

データ番号283 操...
2015-08-31 13:24

データ番号280 視...
2015-08-31 13:19

データ番号282 生...
2015-08-31 13:11

データ番号281 障...
2015-08-31 13:06

データ番号289 日...
2015-08-31 11:21

コンテンツ一覧

メモ



マイページ

コース

メモ一覧

出席カード

English



図書資料データの提供

コース設定

担当教員:

2015

小テスト

アンケート

レポート

プロジェクト

成績 (採点結果)

掲示板

コンテンツ (教材)

データ番号005 語りかける身体:看護ケアの現象学 / 西村ユミ
著

更新日時: 2015-04-30 14:57

東京: ゆみる出版, 2001.3.

コンテンツ管理



データ番号005-語りかける身体-テキスト校正一括



データ番号005-語りかける身体-テキスト校正-分割

データ番号005 語りかける身体:看護
ケアの現象学 / 西村ユミ著

▶ 東京: ゆみる出版, 2001.3.

+ ページ追加

2015-04-16 13:13 - lib-univ- 1.3版 (編集 | 履歴 | 閲覧確認)



9.体制

■ 大学職員：統括（兼務）：1名

■ 業務委託職員：統括（兼務）：1名

障害学生支援担当者：2名（1名はパートタイム勤務）

業務内容：新規申込受付、リテラシー研修、利用者ニーズ把握、データ化依頼受付、管理簿記入、既存資料有無の確認、データ化、Webアップロード、学生への連絡、機器操作サポート、他館所蔵資料の許諾申込み、作成済みテキストデータ一覧（ホームページ）の更新

10. 取り組み実績

申込件数（受付日で集計）

	2010	2011	2012	2013	2014	総計
OCR		3	31	28	46	108
校正	44	22	39	26	40	171
合計	44	25	70	54	86	279

平均作業日数（2013年12月よりOCR優先で作業）

	2010	2011	2012	2013	2014	通期
OCR		2.0	44.9	36.1	1.6	23.0
校正	100.2	85.3	51.8	105.7	142.2	97.9
合計	100.2	75.3	48.7	69.6	67.0	68.9

11. 予算

- 障害学生支援業務（直接的な学生支援予算）予算は一部
研究科＋障害学生支援室＋図書館に配置
- バリアフリー化や専門職員雇用経費は上記予算とは別
- 障害学生支援室は、障害学生一人当たりの上限額を原資
とした予算枠内で弾力的に運用
- 図書館配分予算は全てデータ化の委託業務に

12. 今後の課題

増えるニーズに限られた予算でどう対応するか



- 一層の作業効率化～人手では限界あり、技術革新に期待
- サービス提供方法の見直し
- 他機関との相互利用の可能性